

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第41号(通巻第108号)

2005年9月21日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

「子どものライフスタイルと成長の危機」～第13回教育フォーラムのご報告～

山梨大学教育人間科学部主催、第13回教育フォーラムを7月31日(日)総合研究棟において開催しました。小中学校の先生方を中心に約40人が参加し、「子どものライフスタイルと成長の危機」をテーマに意見を交わしました。

パネリストとして、県スポーツ健康課の加賀美猛指導主事、保健管理センター講師の平野雅巳先生、昭和町立常永小学校教諭の深澤秀興先生を招き、体力、睡眠、食育のそれぞれ観点から、調査結果や実験データあるいは現場の実践を通して見える現在の子供たちの実態と問題点を指摘していただきました。参加者からは、「子どもたちの危機的な状況を具体的に示してもらえた」「今後のこどもの教育のためばかりでなく、自分自身の生活の改善のためにも役立った」

「学校現場にいたのでは知り得ない知識や情報等にふれることができた」ライフスタイルの乱れが間違いなく生徒指導面の乱れと比例していると感じる」といった感想を聞くことができました。

熱気あふれる教育フォーラム



第2回期間採用者等研修のご報告(山梨大学地域連携事業)

今年度2回目の期間採用者等研修を8月5日(金)に開きました。講師には、現在、指導的立場でご活躍中の小・中・高・養護学校の先生方や元管理職の先生方11名をお迎えし、校種別に教科や生徒指導等に関して1日研修を実施しました。当日は期間採用や非常勤等をされている先生方78名が参加し、最後まで熱心に研修されました。受講生からは「実践的なお話を貴重な資料とともに聞くことができ、大変参考になった」「教師が自分の考えを持つ大切さを改めて感じた」「授業準備、学級経営の方法などとても参考になった」等の感想が寄せられました。

なお、3回目を12月3日(土)に予定しております。

実践ビデオを教材に用いた校種別研修

特別支援教育基礎研修のご報告

(山梨大学地域連携事業)

今年度初の特別支援教育基礎研修が8月11日(木)午前中、放送大学を会場に行われました。講師として、山梨県の特別支援教育体制推進事業にも携わっておられる山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科医の青柳閣郎氏をお招きし、一般の方や教員等49名が「発達障害児への医学的介入」について研修しました。参加者からは、「実際に県内で発達障害児の医療に関わっておられる医師からのお話が聞いて良かった」「学校教育に理解があり嬉しく思った」「医師から直接わかりやすく、貴重なお話を伺えた」等の感想がありました。



若手教員研修のご報告（山梨大学地域連携事業）

今年度の若手教員研修は8月11日（木）午後、本学部教授進藤聡彦氏の『「分かる」と「やる気」の関係』を基調講演とし、義務教育、高等学校の分科会では、4名のベテラン現職教員をグループアドバイザーとして研修を深めました。当日は基調講演に一般教員も含めて24名、分科会に9名の若手教員が参加しました。参加者からは「進藤先生のお話は興味深く、大学で心理学を専攻せず、後悔した」「日頃の悩みを聞いていただき、アドバイスが大変参考になった」等の感想が寄せられました。

熱心に研修を受ける若手教員



「米国の算数授業研究の現状」

～第2回地域貢献教育学研究会のご報告～

9月6日（火）、県総合教育センターにおいて、第2回地域貢献教育学研究会を開催しました。この研究会は、山梨大学と山梨県の連携事業『授業研究実践論』による県との連携事業の核となるもので、附属教育実践総合センターと山梨県総合教育センターとが情報を交換しあい、その成果を山梨大学の学生に対しては、「授業研究実践論」の授業を通し、また、県内の先生方には、総合教育センターで実施する研修会を通して還元していこうというものです。今回は、大学側からの情報及び研究の紹介ということで、数学教育講座の中村享史教授に、「米国の算数授業研究の現状」という演題で講演をお願いしました。

メンバーの他に総合教育センターの所長さんをはじめ、研修主事や留学生など約50人が参加し、今、米国の研究者の間で関心が高まっている日本の「授業研究」について、教育実践の米国へ協力という面で経験豊富な中村先生を講師に、米国における授業研究の受け入れ過程から見えてくるわが国の算数・数学の授業や教師教育の優れている点、課題等について研究を深めました。

中村享史教授の講演



地域連携事業「高等学校教科情報教員支援」の現状報告

当センターでは山梨大学地域連携事業の一つとして高校教科情報の担当教員支援を行っています。平成17年度山梨県高等学校教育研究会情報科部会第1回理事会・総会が9月7日に山梨県総合教育センターで開催され、本学教育実践総合センターの山下和之助教授が事業の平成15、16年度の実施報告と今年度の研修会や授業研究会等の計画について説明しました。また、高校の現場の把握と研修会の要望等を調査するためアンケートを実施しました。

第3回教育臨床研究会のお知らせ

第3回教育臨床研究会を9月28日（水）（10:30～12:30）J号館5階多目的教室で行います。今年度は「発達障害のある子の困り感に寄り添う支援」（佐藤暁著 学研）をテキストに、土肥満氏（山梨県教育委員会高校教育課特別支援教育担当指導主事）、竹川美佐子氏（富士川小学校教諭）を講師に迎え、実施しています。関心のある方は是非お出かけください。

教育実践学研究（センター研究紀要）第11号の原稿募集について

教育実践学研究への投稿申し込みは9月30日（金）原稿提出の締め切りは10月31日（月）までとなっています。＜申込者の氏名と所属＞、＜共著者の氏名と所属＞、＜論文題目＞を記したメールを jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp 宛に送信して下さい。多くの方の投稿をお待ちしています。

「教師のための教育相談」の報告書提出のお願い（随時受け付けています）

報告用紙は庶務事務室入り口左手の共通レターケースの中にあります。提出は鳥海のレターケースへ。

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見るすることができます。